

# 令和5年度のお金の使い道を紹介

## 新年度予算

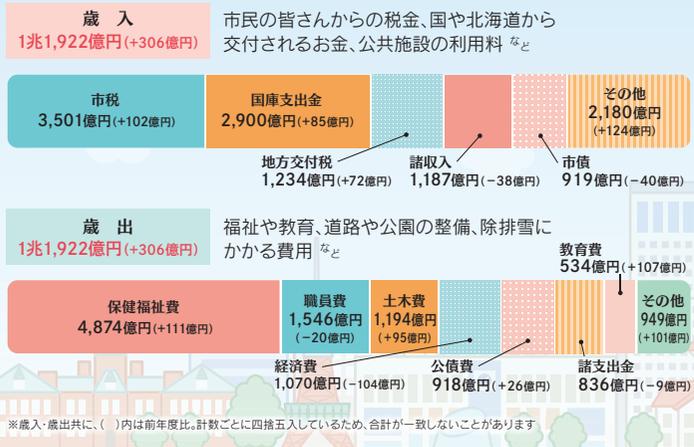
### 予算の種類

予算とは、市の1年間の収入(歳入)と支出(歳出)の計画を示すもの。市では、予算を左の3種類に分けて管理しています。

<b>一般会計</b> 1兆1,922億円	福祉や教育など、基本的な事業を管理する会計
<b>特別会計</b> 3,841億円	国民健康保険や介護保険など、一般会計とは区別が必要な事業の会計
<b>企業会計</b> 2,733億円	地下鉄や水道など、料金収入で運営している事業の会計

### 一般会計の歳入・歳出の内訳と前年度比

歳入は、固定資産税の増加などにより、市税が102億円増加したほか、駒岡清掃工場の更新工事費の増加などにより、国からの補助が増えて、国庫支出金が85億円増加しました。歳出は、新型コロナウイルス感染症対策関連経費の増加などにより、保健福祉費が111億円増加した一方で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業への融資資金の減少などにより、経済費が104億円減少しました。



市が4月からお金をどう使うのかをまとめた、令和5年度の予算が完成しました。この特集では、予算のポイントや主な取り組みを紹介します。  
詳細財政課(21)2212

### 本年度当初は骨格予算

本年度の当初予算は、以前から継続して行っている事業を中心とした骨格予算です。5月に就任する新市長が、柔軟に施策を実施できるようにお金を残しつつ、福祉や経済など生活への影響が大きい施策にかかる費用を盛り込んでいます。

### 本年度予算のポイント

- ・新市長の施策に使えるお金を30億円留保
- ・物価高騰対策や新型コロナウイルス感染症対策など、急ぎで対応が必要な課題にしっかりと予算を計上。全体として前年度比で約300億円の増加に

※新市長の方針を反映させる肉付け予算は、4/9日の選挙後に編成

### 次ページから主な取り組みを3つの柱に沿って紹介!

※本年度の予算は、前年度予算に当たる補正予算と一体的に編成した16カ月予算のため、次ページからは補正予算の金額も含めて記載

## 子ども・子育て支援、町内会支援、誰もが暮らしやすいまちづくり

子どもを生み育てやすく、誰もが暮らしやすいまちを目指して、子育てや町内会への支援、健康・福祉に関する取り組みを進めます。

### 子ども・子育て支援

妊娠から子育てまでを切れ目なく支援 **17億5,500万円**

保健師などが行う相談事業の充実に加え、妊娠・出産寄り添い給付金(妊娠・出産各5万円)を支給することで、経済的支援も行います。



保育施設などの安全対策を強化 **6億5,200万円 拡充**

送迎バスから降りていない子どもを感じし知らせるブザーの設置や、ICT(情報通信技術)を活用した子どもの見守りの費用を、保育施設などに補助します。

### 健康・福祉

公共施設などのバリアフリー化 **51億7,800万円**

地下駅や学校へのエレベーターの設置を進めるほか、地区センターなどのバリアフリートイレの改修、歩道のバリアフリー化などを進めます。

### 町内会支援

町内会活動の活性化を支援 **3億8,700万円 新規・拡充**

町内会の自主的な活動を支援する住民組織助成金の助成額を引き上げるほか、デジタルの活用を目指す町内会に専門家を派遣し、講座を実施するなどの取り組みを行います。

### 他にも

- 町内会が設置する街路灯の維持管理に加え、撤去費用を補助 **8,700万円**
- 町内会が敷地内へ共用箱型ごみステーション器材を設置する費用の助成率などを引き上げ **8,600万円**

### 除排雪

安全・安心な冬の道路環境の確保 **261億5,700万円**

大雪時の市民生活への影響を最小限にするため、道路や降雪の状況に応じて機動的に除排雪を行います。近年の極端な気象状況も踏まえ、前年度の当初予算に比べて45億7,900万円を増額しました。

### 機動的な除排雪を行うための取り組み

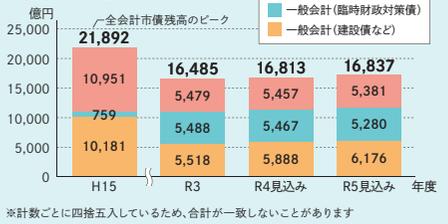
- ・12月中旬～1月上旬に積雪が50cmに達し、その後も大雪が見込まれる場合などに、幹線道路の道路脇の雪山を全て排雪
- ・雪堆積場を75カ所から80カ所に増設 など



## 市債の状況

市の借金である市債の残高は、建設債の増加などにより、前年度よりも増える見込みです。引き続き、将来に過度な負担を残さないよう、事業費の精査や効率的な事業の執行などにより、市債残高の抑制に努めます。

### 市債残高の推移



## 物価高騰対策・

### 新型コロナウイルス感染症対策

物価高騰などの影響を受けた市民生活の支援や、新型コロナウイルス感染症の状況に合わせた対策を継続して行います。



### 市民生活の支援

プレミアム商品券の発行

22億円  
(詳細は11ページ)

妊娠から子育てまでを切れ目なく支援  
(詳細は9ページ)

### 新型コロナ対策

相談体制などの維持、ワクチンの接種 414億8,400万円

受診・相談センターなどの運営を維持※するほか、対象者のうち希望する方が無料でワクチンを接種できる体制を確保します。

※感染症法上の分類が5類へ移行後、事業内容を変更する可能性あり

## 経済活性化・

### まちのリニューアル・ゼロカーボンの推進

産業を育て経済を活性化させるとともに、まちのリニューアルやデジタル化の推進、脱炭素化に取り組みます。



### 企業立地を促進

10億4,000万円 拡充

本社機能の移転や、IT・バイオ技術を活用して研究開発を行う事業所の新設・増設に対する補助上限の引き上げなどを行います。

### 魅力発信・産業振興

観光地の魅力アップ

2億円 拡充

定山溪地区の魅力向上のため、足湯を新たに整備するほか、カヌーや登山などのアクティビティを造成する事業者を支援します。



### まちのリニューアル

札幌駅交流拠点の整備

103億6,400万円 拡充

2030年度末を予定している北海道新幹線の札幌開業に伴い、札幌駅周辺の再開発事業の支援や新幹線の東改札口の設計、創成川上空の歩行者動線の検討などを進めます。



### デジタル化の推進

手続きをより便利に

9,200万円 新規

大型ごみ収集の受け付けや処理手数料の電子決済、市税の口座振替の申し込みなど、オンラインでできる手続きを増やします。

### 脱炭素社会

住宅のエネルギー源を転換 2,400万円

住宅で使用する空調・給湯機器の熱源を、灯油から、二酸化炭素の削減効果が30%以上ある電気やガスに転換する費用を補助します。

太陽光発電の導入を推進 5,200万円 拡充

社屋やビル、マンションなどに太陽光発電設備や蓄電池設備を導入する際の費用を補助し、電力を自家消費できる設備の普及を促進します。

## 暮らしやすく より魅力的なまちへ

市では、誰もが暮らしやすいまちづくりや、経済を活性化させるためのさまざまな取り組みを進めます。魅力あふれるまちを一緒につくります。

